

すまいるん vol.73

社会福祉法人 済生会 済生会熊本福祉センター	
就労継続支援A型・B型 済生会かがやき	幼保連携型 認定こども園 済生会しらふじ子ども園
就労継続支援B型・ 生活介護 済生会ほほえみ	児童発達支援センター 済生会なでしこ園
就労継続支援A型・B型 済生会ウイズ	済生会グループホーム事業所
済生会熊本福祉 相談支援センター	熊本県地域生活定着支援センター

こんにちは!!済生会熊本福祉センターです。
 私達の福祉センターは、認定こども園、児童発達支援センター、地域生活定着支援センター、障がい福祉サービス事業所で構成されています。
 園児・利用者・従業員・職員総勢約555名が毎日『すまいるん』で頑張っています!!

済生会熊本福祉センターの理念及び基本方針

理念 一人ひとりを尊重し、共に生きる社会の実現をめざします。

基本方針

- ・ライフステージに応じた自立を支援します。
- ・専門性と施設機能を活かし、地域社会に貢献します。
- ・利用者主体の福祉を実践します。

新入職員歓迎挨拶



4月1日、済生会熊本福祉センターに新職員と利用者を各事業所に迎えることができました。福祉センター創設20周年目という特別な年の入職となる新職員への歓迎の挨拶を致しましたので、その内容をご紹介します。

まず、私たちはこの節目の年を第三の創業として位置付け、さまざまな改革を行っている旨をお話しました。改革の内容について紹介しますと、この3年間で外部コンサルを入れた人事制度改革、優秀な人材のリクルート、各事業所における記録システムの導入など所謂 ICT化の推進、そしてウイズの食品加工棟の建築、済生会熊本病院横にグループホームの土地取得など積極的投資を行って参りました。これらが第三の創業と言われる所以です。職場環境の質が上がり、仕事の質が上がることでエンドユーザーである利用者並びに利用者ご家族への支援の質が上がるかと信じているからです。

また、当センターは210名のスタッフがいますが、8事業合計した支援の対象者は毎日800名を超えています。そのご家族を含めると数千名の方々に直接または間接的に支援が及んでいることとなります。社会への貢献及び影響が相当に大きい職場であると自信を持って言えるということをお話しました。

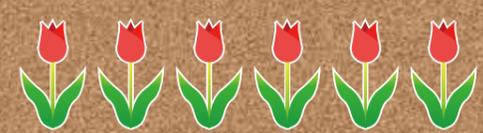
先日の日経新聞の投稿に「成功する人は努力する人で努力する人は志を持っている人である。」とありました。当センターの志は済生会の基本理念に基づき当センターの理念、基本方針を立てています。私たちは、全国済生会の福祉施設のなかでも最大の福祉施設です。熊本でもトップクラスの規模、事業内容となっています。皆さんと共に志を一つにして更に充実させ、全国から見学にこられるような全国でもトップクラスの施設にしたいと思っておりますので、宜しくご協力ください。

かがやきでも、新たに職員を2名迎えることができました。かがやきらしい明るさを大事にしながらも、心機一転、節目の年にふさわしい様々な改革を行っていききたいと思います。今年度も宜しくお願い致します。

2024年 4月 済生会熊本福祉センター 所長 宮川 栄助

新入職員紹介

<p>しらふじ子ども園</p> <p>所属 しらふじ子ども園 調理師</p> <p>自己PR 前職の経験を活かしてこどもたちに安全で美味しい給食を届けられるように頑張りたいと思います。</p> <p>魚山 太瑛</p>	<p>しらふじ子ども園</p> <p>所属 しらふじ子ども園 保育士</p> <p>自己PR 自分の取り柄の元気で明るさを活かし、子どもたちの笑顔がたくさん引き出す保育をしたいです!</p> <p>林 玲未</p>	<p>しらふじ子ども園</p> <p>所属 しらふじ子ども園 保育士</p> <p>自己PR 私は子どもが大好きです。働く中で大変なこともあると思いますが、子どもとの関わりを活かに頑張ります。</p> <p>早田 乙羽</p>
<p>しらふじ子ども園</p> <p>所属 しらふじ子ども園 保育士</p> <p>自己PR 子ども達と一緒に歌を歌ったり、身体を動かして遊ぶ事が大好きです。今の環境に慣れたらジム通いを再開したいと思っています!</p> <p>栃原 理恵</p>	<p>かがやき</p> <p>所属 かがやき 副管理者</p> <p>自己PR 野球やラグビー等スポーツ・格闘技に熱中して剣道は3段、柔道は黒帯です。悪い奴は逮捕します!!</p> <p>中村 繁就</p>	<p>かがやき</p> <p>所属 かがやき 支援員</p> <p>自己PR 大学で学んだ心理学を活かし、利用者の方、ご家族の方の気持ちに寄り添った支援を行っていききたいです。</p> <p>弟子丸 優華</p>
<p>グループホーム</p> <p>所属 グループホーム 看護師</p> <p>自己PR 職し1ヶ月。一日でも早く仕事を覚え、頼りにされる存在となれる様、自分のモットーである学びを大切に頑張っていきたいと思っています。</p> <p>村上 真里</p>	<p>ウイズ</p> <p>所属 ウイズ 管理者</p> <p>自己PR デカイ図体をしていますが、優しい性格だと思っています。共生社会の実現に向け、皆さんと一緒に頑張っていきます。</p> <p>河野 明彦</p>	<p>ウイズ</p> <p>所属 ウイズ 調理師</p> <p>自己PR 何事も前向きに、皆さんに寄り添った食事作りが出来るよう努力したいと思っています。これからよろしくお願ひします。</p> <p>上田 聡美</p>
<p>なでしこ園</p> <p>所属 なでしこ園 保育士</p> <p>自己PR 今年度入職いたしました杉本です。穏やかな性格を活かし、子どもに寄り添った支援ができるよう心掛けます。</p> <p>杉本 もも花</p>	<p>ほほえみ</p> <p>所属 ほほえみ 支援員</p> <p>自己PR 明るく笑顔で積極的に皆さんと関わり、広い視野で仕事に取り組めるよう精進します。</p> <p>飯川 志海</p>	<p>地域生活定着支援センター</p> <p>所属 地域定着支援センター 相談員</p> <p>自己PR 穏やかな気持ちで対象者に寄り添い、誠実に対応していきたいと思っています。</p> <p>橋本 秋生</p>



新任式・オリエンテーション

2024年4月1日、済生会熊本福祉センターでは12名の新人職員を迎えました。かがやき2名、ほほえみ1名、GH1名、ウイズ2名、なでしこ園1名、しらふじ子ども園4名、定着1名を対象に、ほほえみ多目的ホールで新任式とオリエンテーションを開催しました。

新任式では、はじめに宮川所長から挨拶をいただき、新人職員は緊張した面持ちで辞令交付を受けました。その後、各事業所の管理者紹介、先輩職員との顔合わせ、自己紹介を行いました。

オリエンテーションでは、宮川所長より「済生会および支部熊本県済生会について、福祉センター理念・基本方針」、小西事務長より「各事業所紹介、人材育成方針、目標管理制度・人事評価について」、入江管理者より「コンプライアンス、虐待防止、身体拘束について」ご講話いただきました。

熊本福祉センターでは、創設20周年となるこの節目の年を第三の創業として位置づけ、様々な改革を行っています。各事業所におけるICT化の推進や



ウイズ食品加工棟の建築等、職員が長く安心して働ける環境を作り、利用者支援、保育・教育の質を向上させ、地域社会に貢献できる施設を目指し、より一層努力し取り組んでまいります。

ドキドキ・わくわくの 花の日訪問!



済生会なでしこ園

6月5日(水)に花の日訪問で、しらふじこども園のお友達と一緒に済生会熊本病院と西熊本駅交番に行きました。数日前から花の日についてみんなでお勉強し、お花は手作りのあじさいを製作しましたよ。当日は出発からの喜びの気持ちが全身から溢れ出る子どもたちでしたが、いざお医者さんや警察官の方を前にすると緊張の表情に…。勇気を出して手渡すと「ありがとう」「かわいい」と喜んでもらい、子どもたちも満足感と達成感でいっぱい笑顔が浮かべていました。帰り道の車中では緊張から解き放たれ、シーンと静まりかえっていた子どもたちでした☆



お見知り遠足



済生会しらふじ子ども園

4月20日(土)熊本港緑地公園をお借りして、「お見知り遠足」を行いました。保護者会総会のあと、新しいお友だちが入園して初めての行事でもありましたので、各クラスで集まって自己紹介やクラス役員の紹介を行いました。その後は、未満児と以上児に分かれてのゲームをしました。カードをめくって「おんぶ」「だっこ」「かに歩き」のどれか出た面をお家の人にしてもらい、ゴールを目指すというゲームです。お家の方と触れ合いながらのゲームで、子どもたちからお家の方からも笑顔がいっぱい見られました。小学生対象に「じゃんけん大会」もあり、それぞれに楽しい時間になったようです。



洗車事業開始します

済生会ウイズ

済生会ウイズ食品部門では、新規事業として洗車事業を開始する事となりました。現在、食品部門では、皮むき・果物の梱包・タオル畳みの作業をしており、実施時期については通常業務と並行して行なうこととなりますので、まずは福祉センター内田エリアの公用車を対象に、実施可能な時期からスタートさせて頂く予定です。

今後については様々な要望に応えられる体制を整えて、提供させて頂く対象や範囲の拡大を目指して取り組んで参りたいと考えております。



委託開始から10年

地域生活定着支援センター

熊本県地域生活定着支援センターは、今年の4月で済生会熊本福祉センターが委託を受けはじめて10周年を迎えました。当センターでは、罪を犯した高齢者・障害者の福祉的な支援を担っています。センターの名前も長く、業務内容もなかなか一般の方には馴染みのないものだと思いますが、普及啓発活動に力を入れてきたおかげかここ最近では電話での相談件数が増えてきたように感じます。今後も、対象者支援と併せて普及啓発活動にもより一層力を入れて取り組んでいきたいと思っております。



移転しました

「熊本市障がい者相談支援センターさいせい」として、2018年度から熊本市の市町村相談支援事業を受託し、2期6年間、熊本市西区春日に事務所をおき、熊本市西区圏域の障がいのある方やそのご家族等からの各種相談に応じてきました。その間、情報の提供や助言、福祉サービス利用援助等の必要な支援を行なってきましたが、2024年3月末を持ちまして契約期間満了に伴い熊本市の委託事業は終了しました。併設しておりました済生会熊本福祉相談支援センターは、4月1日より事務所を南区内田町の済生会熊本福祉センター内田施設内に移転し、指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業・指定一般相談支援事業を継続しております。

これからも、地域の関係機関とも連携を図りながら、ご利用者の方やご家族が安心して生活を送られるようにご支援を行って参ります。障がい福祉に関するご相談等がございましたら、お気軽にご相談ください。



済生会熊本福祉センター

創立20周年!!

済生会熊本福祉センターは2024年4月1日に創立20周年を迎え、記念してロゴマークを作成しました。

当センターの8つの事業を8色で表し、円型のデザインで柔らかく温かい雰囲気を出しました。

また水彩画のようなタッチにすることで、「はっきりとした色合いではなくても1人ひとりの個性が違ってもいい」という思いを込めています。

これからも済生会熊本福祉センターは、理念である1人ひとりを尊重し、共に生きる社会の実現をめざしていきたいと思っております。



発行所
済生会熊本福祉センター
発行責任者 宮川 栄助
編集 広報委員会
熊本市南区内田町3560-1
TEL 096-223-3330
FAX 096-223-3429
<https://www.sk-fukushi.jp/>

